

令和5年度 岩谷堂高等学校  
第2回学校運営協議会・コンソーシアム会議

1 期日 令和6年2月20日(火) 16:00~17:00

2 出席者

学校運営協議会委員11名 コンソーシアム関係7名(生徒会役員2名を含む)  
教職員6名 生徒発表2名

3 次第

- (1) 開会のことば
- (2) 会長あいさつ
- (3) 学校長あいさつ
- (4) 生徒発表
- (5) 協議
  - ア 報告(進路状況、学校評価アンケート)【承認】
  - イ 学校経営について【承認】
- (6) その他
  - ア 生徒会活動について
  - イ その他
- (7) 提言
- (8) 閉会のことば

4 質疑・意見交換・提言

- ・学校評価アンケートから、挨拶について先生方と生徒との捉え方が違うことがわかった。
- ・PTA 健全育成委員会でのあいさつ運動では、小さい声ではあるものの、進んで挨拶してくれる。
- ・本日来校時に、生徒の方から挨拶をしてくれた。学校はスクールポリシーに適する子どもたちを育てていることを実感し感心した。
- ・校外では、1人で登下校している生徒ほどスマホを見ながら歩いている。女子生徒の挨拶は非常に良い。自然と挨拶できるようであるとよい。
- ・本日、卒業する3年生の進路資料を見せてもらい、地域に就職する人が多く嬉しかった。卒業研究などでもっと地域に踏み込んだ活動をしてほしい。
- ・コロナ明け、オフラインの大切さを実感している。インターンシップでの受け入れ準備があるので、いつでも相談して欲しい。
- ・部活動指導の中で、「礼節」について話をした。教養と礼節とを兼ね備えた人になって社会に出てほしい。そのために部活動があるのだろう。
- ・生徒会で、議論していることを知り、とてもよいと思った。どんどん議論して、生徒会活動を良い方向へ進めてほしい。
- ・生徒発表、生徒会活動について知ることができ、素晴らしいと思った。我々大人が気づかないところに目を向けている。
- ・本校の系列授業について、実習や講演などで繋がりパイプを太くすることができると考え

る。

- 子どもが生まれたとき、生まれてきただけで十分と思っていた。大きくなると、元気でいることが一番だと思っていたが、世の中、何が起こるかわからない状況になってきたので、誰にでも挨拶ができ、自己肯定感を持っていれば、人と繋がることができ、何かあってもどうにか乗り越えていけるものだと思う。今日、この会議の場に、生徒が参加して活動報告をしてくれたことがとても頼もしく、嬉しく感じた。